

2019年1月17日

報道関係各位

GMO アドマーケティング株式会社

GMO アドマーケティング、「The IAB Technology Laboratory」に加盟

GMO インターネットグループの GMO アドパートナーズ株式会社の連結会社で、アドテクノロジー事業、メディアセールス事業等を展開する GMO アドマーケティング株式会社（代表取締役社長：渡部 謙太郎 以下、GMO アドマーケティング）は、このたび非営利コンソーシアムの The IAB Technology Laboratory（本拠地：米国ニューヨーク州、ゼネラルマネージャー：Dennis Buchheim 以下、IAB Tech Lab）に、General Member として加盟いたしました。

【加盟の背景】

昨今のデジタルマーケティング領域は、著しい技術革新により手法の多様化が進み、その効果や効率性もますます高まっています。しかしその一方で、指標の複雑化や広告詐欺などの問題も発生しています。



こうした中で、IAB Tech Lab は、消費者にとって利益となる効率的かつ持続的なデジタルメディアのエコシステム^(※1)の成長を促すべく、デジタルマーケティング領域におけるグローバルな標準技術の確立と、その浸透を推進している非営利コンソーシアムとして、デジタルパブリッシャーから、アドテクノロジー企業、マーケター、広告主企業、広告代理店まで、世界各国のデジタルマーケティング領域にかかわる企業が参加し、業界共通の課題について解決へ向けた議論・検討を行っています。

このたび GMO アドマーケティングは、IAB Tech Lab の会員となったことで、今後、同コンソーシアムで行われている各種ワーキンググループ活動や、新たな技術仕様の開発、プログラムの開発などに参加いたします。これにより、海外の最新技術や事例、グローバルな標準技術についての動向などの最新情報を得るとともに、グローバル企業との議論・検討により知見を深めてまいります。そして、ここで得た知見をもとに、自社の広告商品の開発や、デジタルマーケティング支援サービスへ活かし、国内市場に向けて、より一層付加価値の高いサービス・ソリューションを提供してまいります。

IAB Tech Lab のシニアバイスプレジデント兼ゼネラルマネージャー Dennis Buchheim 氏よりコメントをいただいております。

<IAB Tech Lab Dennis Buchheim 氏からのコメント>

「我々は GMO アドマーケティングを歓迎し、日本市場に対する知見をもって IAB Tech Lab の標準規格や技術に関する取り組みに有益な情報をもたらし、日本と APAC 地域での標準規格の採用促進の助けとなることを楽しみにします」

GMO アドマーケティングは、会員となることで得た知見を活用し、今後も国内のアドテクノロジーの発展に貢献してまいります。

(※1)デジタルメディアのエコシステムとは、メディア開発者、販売者、利用者、規制者の4つで構成され、相互作用を通じて作り上げられている。

【IAB Tech Lab について】 (<https://www.iabtechlab.com>)

IAB Tech Lab は 2014 年に設立され、消費者にとって利益となる効率的で持続的なグローバルなデジタルメディアのエコシステムの成長を促進するための技術標準、ソフトウェア、サービスを開発・提供する、

非営利コンソーシアムです。デジタルパブリッシャー、アドテクノロジー企業、広告代理店、マーケターなどのメンバー企業で構成され、デジタル広告のサプライチェーン、計測指標、消費者体験の改善と、データの責任ある利用の促進に注力しています。

IAB Tech Lab の取り組みには、リアルタイム入札(RTB)のプロトコルである「Open RTB^(※2)」、アドクラウド（広告詐欺）防止ための仕様詳細である「ads.txt（アズテキスト）」、ビューアビリティ^(※3)とアドベリフィケーション^(※4)を目的としたオープンソースの開発キット「Open Measurement SDK」らの公開のほか、動画の仕様詳細である「VAST」の策定、ID サービスである「DigiTrust」などがあります。

ボードメンバーとしては AppNexus、ExtremeReach、Google、GroupM、Hearst Digital Media、Index Exchange、Integral Ad Science、LinkedIn、MediaMath、Microsoft、Oath、Oracle's Moat、Pandora、PubMatic、Quantcast、楽天マーケティング、Telaria、The Trade Desk、Yahoo! Japan が参加しています。

(※2) RTB とは Real Time Bidding（リアルタイムビidding）の略で、広告枠の入札をリアルタイムに行い、スピーディーな広告取引を実現する仕組み。Open RTB は RTB を行う際のルール。

(※3) ビューアビリティとは、広告表示全体のうちユーザーが視認できるよう適切に配信された割合のこと。

(※4) 広告が適切に表示されているかを検証すること。

【GMO アドマーケティング株式会社について】

GMO アドマーケティングは、アドテクノロジー事業・メディアセールス事業を主力事業とする、GMO アドパートナーズ株式会社のグループ会社です。インフィード広告に特化したアドネットワーク・SSP・レコメンドウィジェットなどの自社アドテクノロジー商品の提供とあわせて媒体社様と企画型広告（タイアップ広告等）の商品開発・販売支援を行っており、技術とクリエイティブにより媒体社様と広告主様の収益を最大化することをミッションとしています。

以上

【報道関係お問い合わせ先】

●GMO アドパートナーズ株式会社 経営企画部
TEL : 03-5457-0916 FAX : 03-5728-7701
E-mail : release@ml.gmo-ap.jp

●GMO インターネット株式会社
グループ広報・IR 部 石井
TEL : 03-5456-2695 E-mail : pr@gmo.jp

【サービスに関するお問い合わせ先】

●GMO アドマーケティング株式会社 事業開発部 担当 : 田中
TEL : 03-5457-0909 FAX : 03-5457-0910
E-mail : product@ml.gmo-am.jp

【GMO アドマーケティング株式会社】 (URL : <https://www.gmo-am.jp/>)

会社名	GMO アドマーケティング株式会社
所在地	東京都渋谷区道玄坂1丁目16番3号 渋谷センタープレイス6階
代表者	代表取締役社長 渡部 謙太郎
事業内容	■アドテクノロジー事業 ■メディアセールス事業
資本金	2,000万円

【GMO アドパートナーズ株式会社】 (URL : <https://www.gmo-ap.jp/>)

会社名	GMO アドパートナーズ株式会社 (JASDAQ 証券コード : 4784)
所在地	東京都渋谷区道玄坂1丁目16番3号 渋谷センタープレイス4階
代表者	代表取締役社長 橋口 誠
事業内容	■メディア・アドテク事業 ■エージェンシー事業
資本金	13億156万8,500万円

【GMO インターネット株式会社】 (URL : <https://www.gmo.jp/>)

会社名	GMO インターネット株式会社 (東証第一部 証券コード : 9449)
所在地	東京都渋谷区桜丘町26番1号 セルリアンタワー
代表者	代表取締役会長兼社長・グループ代表 熊谷 正寿
事業内容	■インターネットインフラ事業 ■インターネット広告・メディア事業 ■インターネット金融事業 ■仮想通貨事業
資本金	50億円